

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-57166

(P2004-57166A)

(43) 公開日 平成16年2月26日(2004.2.26)

(51) Int. Cl.⁷

A01K 13/00

F I

A O 1 K 13/00

F

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2002-224097 (P2002-224097)	(71) 出願人	000250605 立山アルミニウム工業株式会社 富山県高岡市早川550番地
(22) 出願日	平成14年7月31日 (2002.7.31)	(71) 出願人	593144839 株式会社アイエクス 東京都世田谷区桜新町1丁目1番1号
		(74) 代理人	100114074 弁理士 大谷 嘉一
		(72) 発明者	福井 靖子 富山県高岡市早川550番地 立山アルミニウム工業株式会社内
		(72) 発明者	中村 正直 富山県高岡市早川550番地 立山アルミニウム工業株式会社内

(54) 【発明の名称】 愛玩動物用浴槽及びその載置台

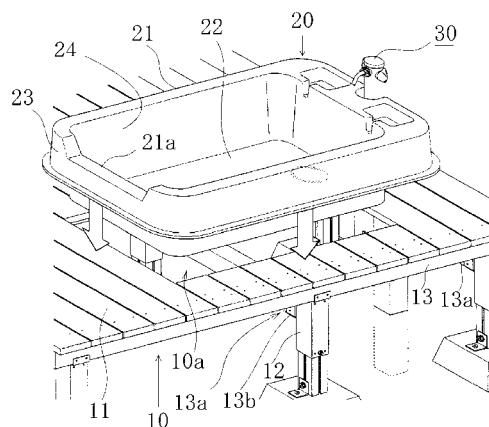
(57) 【要約】

【課題】住宅等の建物の屋外と室内の境界領域にペットの快適な飼育環境を創造すべく、ペットの洗浄作業がしやすい愛玩動物用浴槽及びその載置台の提供を目的とする。

【解決手段】平面状の載置台上面に愛玩動物用の浴槽を収納する開口部又は凹部を設け、載置台上面から浴槽の上端までの高さが、浴槽の深さより低くなるように、上記載置台上面に設けた開口部又は凹部に当該愛玩動物用浴槽を据付ける浴槽載置台とした。この載置台に筒状の固定具にて水栓柱を据付けてもよい。

また、この載置台をテラスデッキ等の一部に組み込むこともできる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

平面状の載置台上面に愛玩動物用の浴槽を収納する開口部又は凹部を設け、載置台上面から浴槽の上端までの高さが、浴槽の深さより低くなるように、上記載置台上面に設けた開口部又は凹部に当該愛玩動物用浴槽を据付けたことを特徴とする愛玩動物用浴槽及びその載置台。

【請求項 2】

載置台上面に水栓柱取付用開口部を設けて筒状の固定具を用いて水栓柱を据付けたことを特徴とする請求項 1 記載の愛玩動物用浴槽及びその載置台。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 記載の愛玩動物用浴槽載置台を一部に組み込んだことを特徴とする建物の屋外張り出しテラスデッキ。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、犬や猫等の愛玩動物（ペット）を屋外にて散歩や日光浴等をさせた後に、室内に入る際にこれらのペットを洗浄等するのに使用する浴槽及びその載置台に関する。

【0002】**【従来の技術】**

犬や猫等の愛玩動物は、飼い主のストレスや孤独感を癒し、精神的な安定を与えてくれるパートナーであり、屋内外の生活をともにする人々が増加しつつある。

この場合に、ペットを屋外で散歩や遊ばせた後で、シャワーやお風呂に入れてペットの体を洗うニーズが高くなっている。

【0003】

このような愛玩動物用の浴槽に関しては、持ち運びが可能でベランダやバルコニー等で使用出来るものが、特開平 11 - 89471 号公報に開示されている。

また、犬や猫用の浴槽も広く市販されている。

しかし、これらのペット用浴槽を屋外と室内の境界領域であるテラス等で使用しようとする、テラス等（デッキ）の外側からペットを浴槽に入れて洗うには高さが高すぎてペットの手入れ等の作業が困難である。

一方、テラスの上に上がって同様の作業をするには、中腰姿勢にならざるを得ず、疲れが大きく大変である。

住宅の玄関口で作業する場合にも同様である。

また、ペットにしても浴槽の浅いものは出入が容易だが、シャワーをするにしても湯に入るにしても、水しぶきが周囲に飛び散り、良くない。

逆に、十分に深い浴槽を用いると、テラス等の床から浴槽の上端までの高さが高くなり、ペットの浴槽への出入が困難になる。

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

本発明は、上記のようなペット環境に鑑みて、住宅等の建物の屋外と室内の境界領域にペットの快適な飼育環境を創造すべく、ペットの洗浄作業がしやすい愛玩動物用浴槽及びその載置台の提供を目的とする。

【0005】**【課題を解決するための手段】**

本発明が上記目的を達成するために講じた手段は、第 1 に平面状の載置台上面に愛玩動物用の浴槽を収納する開口部又は凹部を設け、載置台上面から浴槽の上端までの高さが、浴槽の深さより低くなるように、上記載置台上面に設けた開口部又は凹部に当該愛玩動物用浴槽を据付けた浴槽及びその載置台とした点にある。

【0006】

本発明における平面状の載置台とは、テラス等、建物の屋外に張り出した高台や住宅の庭

10

20

30

40

50

園内に設けた高台等をいい、デッキとも称されている。

載置台上面に愛玩動物用の浴槽を収納する開口部又は凹部を設けたのは、この部分に浴槽の底部を挿入し、載置台上面から浴槽の上端までの高さを調整出来るようにしたものである。

【0007】

本発明が第2に講じた手段は、平面状の載置台上面に水栓柱取付け用開口部を設けて筒状の固定具を用いて水栓柱を据付けた点にある。

載置台上面に水栓柱を据付けることにより、浴槽への湯水の供給やシャワーとして使用出来、さらには庭園の手入れの給水口としても使用出来る。

この場合に載置台は、水栓柱を地上に架設するための固定台として作用し、載置台の開口部に筒状の固定具を備えたことにより、水栓柱を簡単に据付け、取り外しができる。

また、この水栓柱は浴槽と一体的に取付けてもよく、分離して取付けてもよい。

このように、載置台に浴槽と水栓柱を設けると、ペットの手入れに必要な機能が備えられた一体的な載置台となる。

【0008】

本発明に係る浴槽載置台は、浴槽付専用でもよいが、テラス等として使用される建物の屋外張り出しテラスデッキの一部として組み込んでよい。

このようにすると、載置台をテラスの一部として使用しつつ、載置台の側部地上に立ってペットの手入れも可能になる。

【0009】

このような浴槽載置台としたことにより、犬等のペットを散歩等により屋外に連れ出した後で、あるいは猫等の体の手入れをする際に、載置台上面に浴槽収納開口部等を設けたことにより、載置台上面から浴槽上端までの高さが浴槽の深さより低くなるように、載置台への浴槽据付高さを調整できるように作用する。

また、浴槽の側壁に折り返し部あるいはツバ部を設けると、上記浴槽収納開口部に据付けやすい。

これにより、犬等が載置台上面から浴槽へ入りやすく、飛び込み方が小さいのでその際に発生する水しぶきを抑えることもできる。

一方、ペットの体を手入れする人は、平面状の載置台に浴槽が据付けられているので、載置台(デッキ)の側部より立った姿勢で作業をすることができ、中腰になることもなく、逆に作業用の特別の台も必要がなく、ペットとの快適な生活空間が得られる。

【0010】

【発明の実施の形態】

図1に載置台10に浴槽20を据付ける斜視図を示す。

図2(イ)に本発明に係る浴槽載置台の平面図、図2(ロ)にA-A線断面図、図3にB-B線断面図を示す。

載置台10は、左右の大引13を根太13aで連結具13bを用いて連結し、上部に床板11を木ねじ等の係止部材で固定して製作されている。

床板は材質を特に問わないが、木製を用いると庭等の環境に調和した自然らしさが出る。

載置台は大引13の所定箇所に束柱12を連結して組立てられる。

平面状の載置台上面に開口部10aを設けて、この部分に浴槽20の底部が収納される。浴槽20は、樹脂やFRPで成形され、図1に示す例は浴槽の底部22の周囲から側壁24を立ち上げ、箱状のバスタブを形成し、浴槽の上端21から外側に折り返し部23を設けて、この折り返し部が載置台上面の開口部10aの縁に当たり、浴槽の納まり高さが定まる。

なお、図3に示すように浴槽の底部を根太13aにて支持するのが良い。

これにより、図2(ロ)に示すように浴槽の深さLよりデッキ上面から浴槽上端までの高さHが低くなっている。

また浴槽の底部には排水口25が設けられ、ホースを介して又は直接排水ピットに連結される。

10

20

30

40

50

さらに、図 1 に示すように浴槽の上部を部分的に低くして、ペットの出入口 2 1 a を設けてもよく、このような出入口を設けると、よりペットの出入の際の水しぶき等を小さく抑えることができるとともに、ペットのしつけにもなる。

このように、浴槽を据付けた載置台を住宅等の出入り口近傍に設置するとペットを洗浄等して手入れした後、そのまま室内に入れることができる。

【0011】

載置台の束柱連結構造を図 4 及び図 5 に基づいて説明する。

大引 1 3 と上部束柱 1 2 を連結金具 1 2 a を用いて連結されている。

上部束柱 1 2 と下部束柱 1 4 は嵌合連結構造になっていて、図 5 に組立図を示すように、下部束柱 1 4 の側部にはボルト 1 4 c を挿入係合するスライド嵌入溝 1 4 a が形成されていて、上部束柱 1 2 と下部束柱 1 4 の高さ調整がされた位置にて上記ボルト 1 4 c とナット 1 4 b にて締結固定される。

なお、上部束柱 1 2 の上端には、連結金具 1 2 a がビス 1 7 等にて取付けられている。このように上部束柱 1 2 と下部束柱 1 4 を嵌合連結構造としたので、載置台の高さが調整できるので載置台の側部より立ってペットの手入れができる高さに容易に調整できる。

【0012】

載置台を支持する下部束柱 1 4 は、必要に応じて束石 1 5 等にて基礎打ちされているが、必ずしもこの基礎は必要でなく、浴槽載置台として庭の任意場所に設置することも可能である。

図 4 に示す例は、束石 1 5 にアンカーボルト 1 6 a にて固定された連結金具 1 6 を介して束柱 1 4 の下部がボルト 1 6 c、ナット 1 6 b にて締結固定されている。

【0013】

図 2 (イ) に示すように、載置台上面には水栓柱 3 0 を据付ける水栓柱用開口部 1 0 b が設けられ、図 6 に示すように、大引 1 3 に連結された左右の束柱 1 2 の間に連結金具 1 3 b にて連結された根太 1 3 a に補助柱 3 3 を連結金具 3 3 a で連結固定し、この補助柱 3 3 に台座 3 5 及びカバー 3 4 をビス 3 4 a 等で固定し、水栓柱 3 0 の筒状の挿入据付部が形成されている。

この筒状の挿入据付部に水栓柱 3 0 を挿入し、例えば図 7 に示すように上下二段にしてボルト等を用いて簡単に固定できる。

この場合に、上段のボルト 3 6 a 及び 3 7 a の締結位置と、下段のボルト 3 6 b 及び 3 7 b の締結位置の調整により、水栓柱の傾き調整が可能である。

また、ボルト 3 8 a、3 8 b 等で締結することで台座 3 5 が必ずしも無くても高さ調整し、固定が可能である。

水栓柱の下部に設けた給水及び給湯口 3 2 に水及び湯が連結される。

このように地上にて給水、給湯連結されている。

また、水栓柱の上部には、蛇口 3 1 が設けられていて浴槽の給水、給湯に用いたり、庭園の手入れに供される。

この載置台には、図 2 に示すように必要に応じて昇り台が取り付けられている。

【0014】

本発明に係る浴槽載置台は、図 8 に示すようにテラス等を形成するデッキの端の一部に組み込むことも可能であり、この場合には従来のデッキ空間に新たに浴槽付デッキ空間が結合されることになるとともに、テラス等の端部に据付けた浴槽にて犬等のペットをその側部地上から立って手入れできる。

【0015】

【発明の効果】

本発明においては、浴槽載置台とし、載置台の上面を平面状に形成し、その上面に開口部を設けて浴槽の上端が低くなるように据付けたので、犬等のペットを載置台の側部から立って手入れ出来るように高さを設定することができる。

この場合に、載置台に地上据付による水栓柱を設けると、配管のメンテナンスが容易であり、浴槽や庭園に利用出来る。

10

20

30

40

50

また、屋外と室内の境界領域に浴槽載置台を設けることにより、新たなペットとの生活空間が創造され、特に従来の特ラス等の屋外張り出し部に組み込むことにより、多くの機能が集約され、さらに快適な生活空間が造り出される。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明に係る浴槽とその載置台の斜視図を示す。

【図 2】本発明に係る浴槽とその載置台を示す。(イ)が平面図、(ロ)が A - A 線断面図である。

【図 3】B - B 線断面図を示す。

【図 4】載置台の支柱部連結構造を示す。

【図 5】上部束柱と下部束柱の連結構造を示す。

10

【図 6】水栓柱の据付部の構造例を示す。

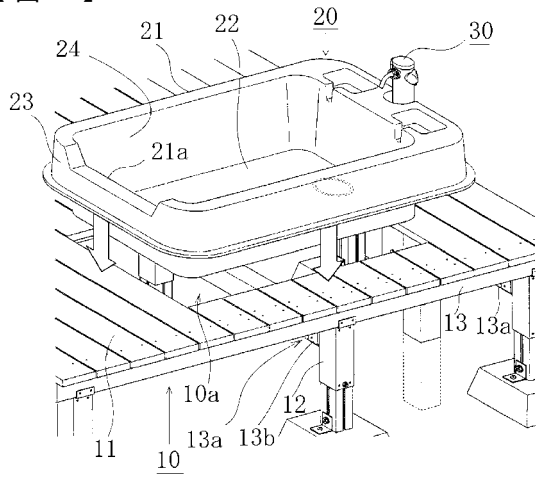
【図 7】筒状固定具への水栓柱取付け例を示す。

【図 8】浴槽載置台をテラス等のデッキの一部に組み込んだ例を示す。

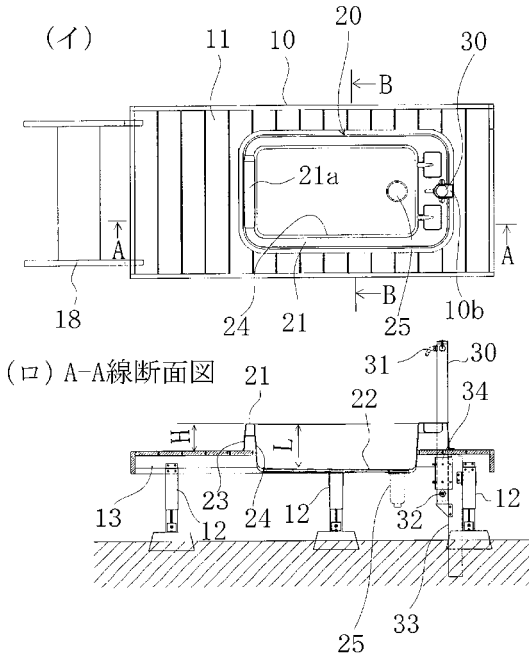
【符号の説明】

1 0	浴槽載置台	
1 0 a	浴槽据付開口部	
1 0 b	水栓柱据付開口部	
1 1	床板	
1 2	上部束柱	
1 3	大引	20
1 3 a	根太	
1 4	下部束柱	
1 5	束石	
1 8	昇り台	
2 0	浴槽	
2 1	浴槽上端	
2 1 a	浴槽出入口	
2 2	浴槽底部	
2 3	浴槽折り返し部	
2 4	浴槽側壁	30
2 5	排水口	
3 0	水栓柱	
3 1	蛇口	
3 2	給水、給湯口	
3 3	補助栓	
3 4	カバー	
3 5	台座	
3 6 a、3 6 b、3 7 a、3 7 b、3 8 a、3 8 b	水栓柱固定ボルト	

【 図 1 】

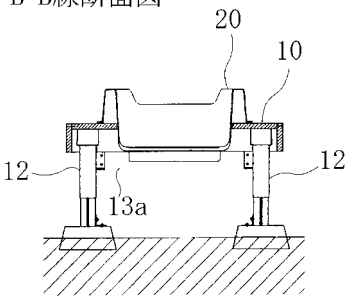


【 図 2 】

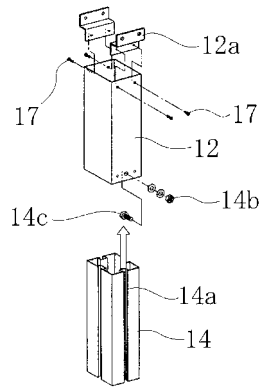


【 図 3 】

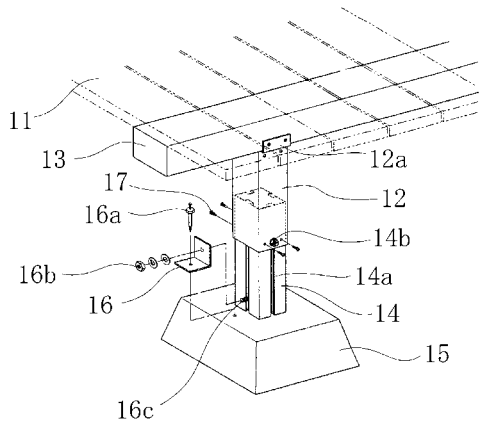
B-B線断面図



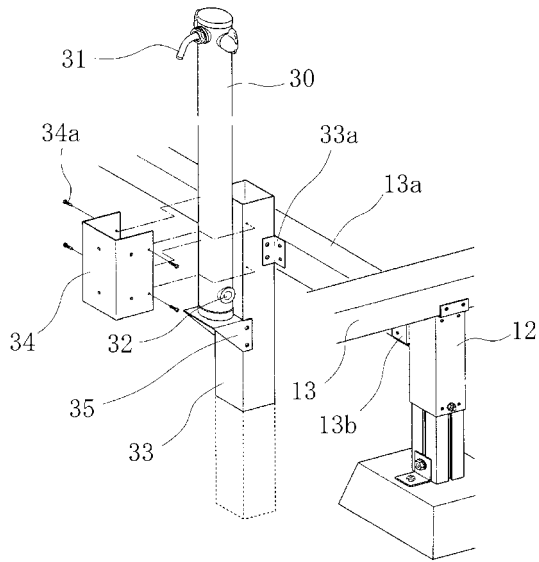
【 図 5 】



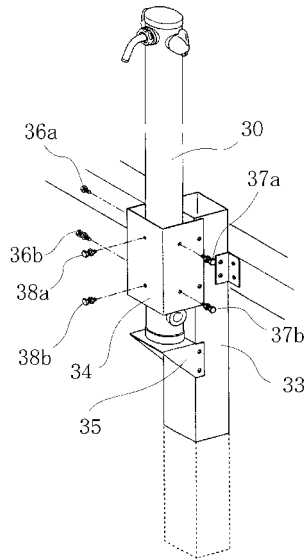
【 図 4 】



【図6】



【図7】



【図8】

